

第23回『全国児童水辺の風景画コンテスト』入賞作品決定のご案内

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団（Yamaha Motor Foundation for Sports）は、2011年10月25日（火）日展会館（東京都台東区）において、第23回『全国児童水辺の風景画コンテスト』の最終審査会を行い、文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、農林水産大臣賞（各1点）を含む入賞作品（計39点）を決定いたしましたので、ここにお知らせいたします。 ※応募総数6,472作品（去年は8,307作品）

●文部科学大臣賞

「でっかい魚みつけた！」



真謝 紀香（まじや のりか）さん
沖縄県八重山郡 竹富町立上原小学校 6年生（12歳）

●国土交通大臣賞

「すな山になみがきた！」



中山 結夢（なかやま ゆめ）さん
和歌山県有田市 有田市立宮原小学校 2年生（8歳）

●環境大臣賞

「海の宝石箱」



竹内 えりか（たけうち えりか）さん
神奈川県横浜市 横浜雙葉小学校 5年生（11歳）

●農林水産大臣賞

「出航の準備」



牧 桂史（まき けいし）さん
高知県高知市 高知市立小高坂小学校 4年生（9歳）

※各賞の受賞者につきましては次頁を、コンテスト概要につきましては別紙をご確認ください。

■ この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください ■

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局：担当・平塚

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp/>

■第23回『全国児童水辺の風景画コンテスト』入賞者一覧（敬称略）

●大臣賞

賞名	氏名	学年(年齢)	作品名	居住地	所属
文部科学大臣賞	真謝 紀香	6年(12)	でっかい魚みつけた!	沖縄県八重山郡	竹富町立上原小学校
作品の説明：「大見謝川での魚巻き集会で大きな魚がとれたところを描きました。」					
国土交通大臣賞	中山 結夢	2年(8)	すな山になみがきた!	和歌山県有田市	有田市立宮原小学校
作品の説明：「おなかの上になみを作ってもらおうと、いろんな生きものやなみがやってきたよ。」					
環境大臣賞	竹内 えりか	5年(11)	海の宝石箱	神奈川県横浜市	横浜雙葉小学校
作品の説明：「シュノーケルのグラスから見た、美しいサンゴや海を描きました。」					
農林水産大臣賞	牧 桂史	4年(9)	出航の準備	高知県高知市	高知市立小高坂小学校
作品の説明：「あしたも太平洋の魚をいっぱいとるために、船の準備をしています。」					

◆審査員コメント

●文部科学大臣賞

小野 保 様 文部科学省 スポーツ・青少年局青少年課 青少年体験活動推進専門官
 昨今、子どもたちが自然の中でキャンプをしたり、魚を捕ったりする活動機会が少なくなっていると言われております。しかし、この絵は子どもたちが自然の中で生き生きとした笑顔を見せて魚を捕る様子が描かれており、全国の子どもたちもこの絵のように笑顔で活動していただければ、という思いを込めて選ばせていただきました。

●国土交通大臣賞

小池 慎一郎 様 国土交通省 港湾局 国際・環境課 港湾環境政策室 室長
 ビーチでとても楽しんでいる様子がシンプルに描かれていること、そして色の使い方を工夫して波の躍動感をうまく表現していることが決め手となりました。とくに今般、大災害があり水辺に出かける機会が減っていると聞いていますが、この楽しそうに遊ぶ絵をみていただくことで、来年の夏は多くの方に水辺で遊んでいただけたら、と思います。

●環境大臣賞

池田 りか 様 環境省 水・大気環境局 水環境課 課長補佐
 シュノーケリングの水中眼鏡を通して見える海中の景色を描いている構図がとてもユニークです。また、海の中の多様な生物が描かれていますが、この作品のようにいつまでも日本に豊かな海があって欲しいという願いを込めて、選ばせていただきました。

●農林水産大臣賞

佐野 文敏 様 農林水産省 水産庁 漁港漁場整備部計画課 課長補佐
 漁業の絵を描く際、一般的には実際に漁を行っている風景を描いた作品が多く見られます。しかし、この絵は小さな港で出漁の準備をしている様子を描いたものです。実際に漁師さんを目の前にして描かれている様子が浮かんできます。また、描かれている漁船は細部まで丁寧に描写されているだけでなく、その歴史と、船を大切に扱ってきたことを感じさせる部分に惹かれて選びました。

●審査員長特別賞

賞名	氏名	学年(年齢)	作品名	居住地	所属
審査員長特別賞	齋藤 愛	3年(8)	養殖の出荷の日	高知県高知市	高知大学教育学部附属小学校

「養殖の出荷の日」



齋藤 愛 (さいとう あい) さん

高知県高知市 高知大学教育学部附属小学校 3年生(8歳)

◆審査員長コメント

工藤 和男 画伯 社団法人創元会理事長、日展評議員

今年は大きな震災があり、日本の漁業は大きな打撃を受けました。そういった状況の中で、海に囲まれた日本は、これからも水産国家としてがんばっていかなければなりません。そこで、最もそれを象徴する漁師が働いている姿を描いた作品が良いだろうと思いました。そのような作品がいくつかある中で、漁師のみなさんの真剣さ、そして魚たちの生き生きとした様子がしっかりと描かれているこの作品を選びました。

●金賞

部門	氏名	学年(年齢)	作品名	居住地	所属
幼児	石田 涼菜	年長(5)	うみにもぐったら	神奈川県海老名市	さくらい幼稚園
幼児	山本 恵果	年長(5)	かつらはまの、なみは、あばれんぼう	広島県福山市	誠信幼稚園
低学年	井川 涼介	2年(8)	大きな伊勢えびとカニ	高知県高知市	高知大学教育学部附属小学校
低学年	鈴木 愛渚	2年(8)	海、たのしい、大好き!	福島県会津若松市	会津若松市立謹教小学校
高学年	上林 未侑	4年(9)	ひらめをもつ私たち	徳島県徳島市	徳島市立千松小学校
高学年	坂部 有香	6年(11)	タコを持ち上げる私	徳島県徳島市	徳島市立昭和小学校

●銀賞

部門	氏名	学年(年齢)	作品名	居住地	所属
幼児	犬塚 琉理	年長	まてまてお魚さん	愛知県碧南市	碧南市立新川幼稚園
幼児	加藤 優芽	年長(6)	川の魚たち	栃木県矢板市	すみれ幼稚園
幼児	金井 惺彩奈	年長(6)	イルカさん みーつけた!	神奈川県茅ヶ崎市	茅ヶ崎松若幼稚園
低学年	石田 夏果	3年(8)	さかなつり	神奈川県海老名市	海老名市立杉本小学校
低学年	築瀬 詠子	3年(8)	西表島のマングローブと生き物たち	神奈川県横浜市	聖ヨゼフ学園小学校
低学年	矢野 有紗	3年(9)	美しい船	高知県土佐市	土佐市立高岡第一小学校
高学年	岡本 由惟	4年(9)	マリーナ	高知県高知市	高知市立横内小学校
高学年	土橋 未優菜	5年(10)	しおひがり	徳島県徳島市	徳島市立佐古小学校
高学年	長谷川 正龍	6年(12)	漁船とはたらくおじさん	徳島県吉野川市	吉野川市立川島小学校

●銅賞

部門	氏名	学年(年齢)	作品名	居住地	所属
幼児	井岡 さら	年中 (4)	海びらき楽しかった！！	山口県大島郡	周防大島町立久美保育所
幼児	市川 葉琴	年長 (5)	たこちゃんとぶくぶくれんしゅう	愛知県岡崎市	岡崎市立広幡幼稚園
幼児	金澤 舜斗	年長 (6)	海の中	奈良県生駒市	あすか野幼稚園
幼児	檜木 菜瑚	年長 (5)	ヨットで探検	京都府舞鶴市	池内幼稚園
幼児	森脇 雅貴	年長 (6)	ザリガニとにらめっこ	徳島県三好市	大泉保育園
低学年	市川 悟也	2年 (7)	生きる光	愛知県岡崎市	岡崎市立広幡小学校
低学年	高瀬 伊瑞美	3年 (8)	魚つり	徳島県徳島市	徳島市立富田小学校
低学年	中野 陽真利	2年 (7)	おさかなみつけた	徳島県板野郡	阿波市立久勝小学校
低学年	西内 桜	3年 (8)	魚つり	徳島県徳島市	徳島市立福島小学校
低学年	本間 叶暖	3年 (8)	荒川のラフティング	神奈川県横浜市	聖ヨゼフ学園小学校
高学年	大石 大	5年 (10)	ラフティング	高知県高知市	高知市立初月小学校
高学年	久龍 悠利	6年 (11)	水中のあゆ	徳島県那賀郡	那賀町立鷺敷小学校
高学年	高橋 亜門	4年 (9)	おしゃれなカワハギたち	神奈川県平塚市	平塚市立吉沢小学校
高学年	村越 太功斗	4年	かめ親子の海たんけん	福島県郡山市	郡山市立小泉小学校
高学年	矢田 英里子	5年 (11)	大漁だ	徳島県吉野川市	吉野川市立学島小学校

●特別賞

賞名	氏名	学年(年齢)	作品名	居住地	所属
日本舟艇工業会会長賞	寺島 直輝	5年 (10)	魚つり	神奈川県海老名市	海老名市立杉本小学校
日本マリーナ・ビーチ 協会会長賞	小笠原 夕華	4年 (9)	海で遊ぶのは楽しいな	鹿児島県熊毛郡	中種子町立野間小学校
ジャパングームフィッシュ 協会会長賞	北田 ナオミ	6年 (12)	とびはねる魚	兵庫県加西市	加西市立北条東小学校
ヤマハ発動機賞	大加戸 優	年長 (5)	かに	兵庫県姫路市	クローバー保育園

※各作品の詳細につきましては、当財団ホームページ (<http://www.ymfs.jp/>) にて、ご覧いただけます。

※「入賞」は最終審査を通過した合計 39 点の作品、「入選」は予選を通過した 331 点の作品のことを指します。

◆審査員長 総評

工藤 和男 画伯 社団法人創元会理事長、日展評議員

東日本大震災の影響を受け、作品が集まるか心配をしておりましたが、震災の被害が大きかった宮城県、岩手県、福島県からも多数の応募をいただき、大変うれしく思っています。本コンテストは今回で 23 回目を迎えましたが、年々のびのびと描かれた作品が多くなっているように感じています。そして、子どもたちが感性を磨き、自然に触れ考える機会を得るこのコンテストは、とても大切であると感じています。今後もますます子どもたちの情操を育み、明るい社会にしていけるよう、コンテストを続けてほしいと願っています。



<ご参考>

■コンテスト概要

- 主 旨** 子どもたちが水辺に出かけた時の出来事や、発見・体験を通して感じたこと・学んだことを、子どもらしい素直な表現で自由に描くことによって表現力と感性が生まれ、心身ともにのびのびと逞しく成長すること
- テーマ** 水辺で発見・体験したことや学んだこと、水辺の仕事や乗り物、水辺で見た景色、水辺に棲む生き物 など
- 対 象** 小学生以下の児童
- 募集期間** 平成23年 7月 20日(水)～ 9月30日(金)
- 審 査** 社団法人創元会理事・日展評議員の工藤和男画伯を審査員長とする7名の審査員と、後援をいただいている文部科学省、国土交通省、環境省、農林水産省の審査員(各1名)により実施
- 賞 典**
- ・大臣賞(各1点):文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、農林水産大臣賞
 - ・審査員長特別賞(1点)
 - ・金賞(各2点):幼児・小学校低学年・高学年
 - ・銀賞(各3点):幼児・小学校低学年・高学年
 - ・銅賞(各5点):幼児・小学校低学年・高学年
 - ・特別賞(各1点):「日本舟艇工業会会長賞」、「日本マリーナ・ビーチ協会会長賞」
「ジャパンゲームフィッシュ協会会長賞」、「ヤマハ発動機賞」

■本コンテストの応募状況

第23回「全国児童水辺の風景画コンテスト」では、「水辺で発見・体験したことや学んだこと」、「水辺の仕事や乗り物」、「水辺で見た景色」、「水辺に棲む生き物」をテーマに、小学生以下の児童を対象に作品を募集し、全国各地の幼稚園、保育園、小学校、絵画教室などから合計6,472点という多くの作品が寄せられました。(昨年8,307点)

ここ数年の応募傾向をみると、幼児の応募が徐々に増えてきており、学校や幼稚園・保育園の行事で、水辺の体験行事などに積極的に取り組んでいる様子が見えられます。今後も、子どもたちが水辺にでかけ、そこで体験したさまざまなことを通して学んだことや感じたことを自由にのびのびと描くことで、表現力や感性が育まれることを願っています。

なお、入賞作品は、平成24年3月1日(木)～4日(日)に開催される「ジャパンインターナショナルボートショー2012 イン 横浜」(横浜市・パシフィック横浜)など各地で開催される海洋関係のイベントに展示するほか、当財団の各種ツールやインターネット・ホームページに掲載する予定です。

◆応募数推移

